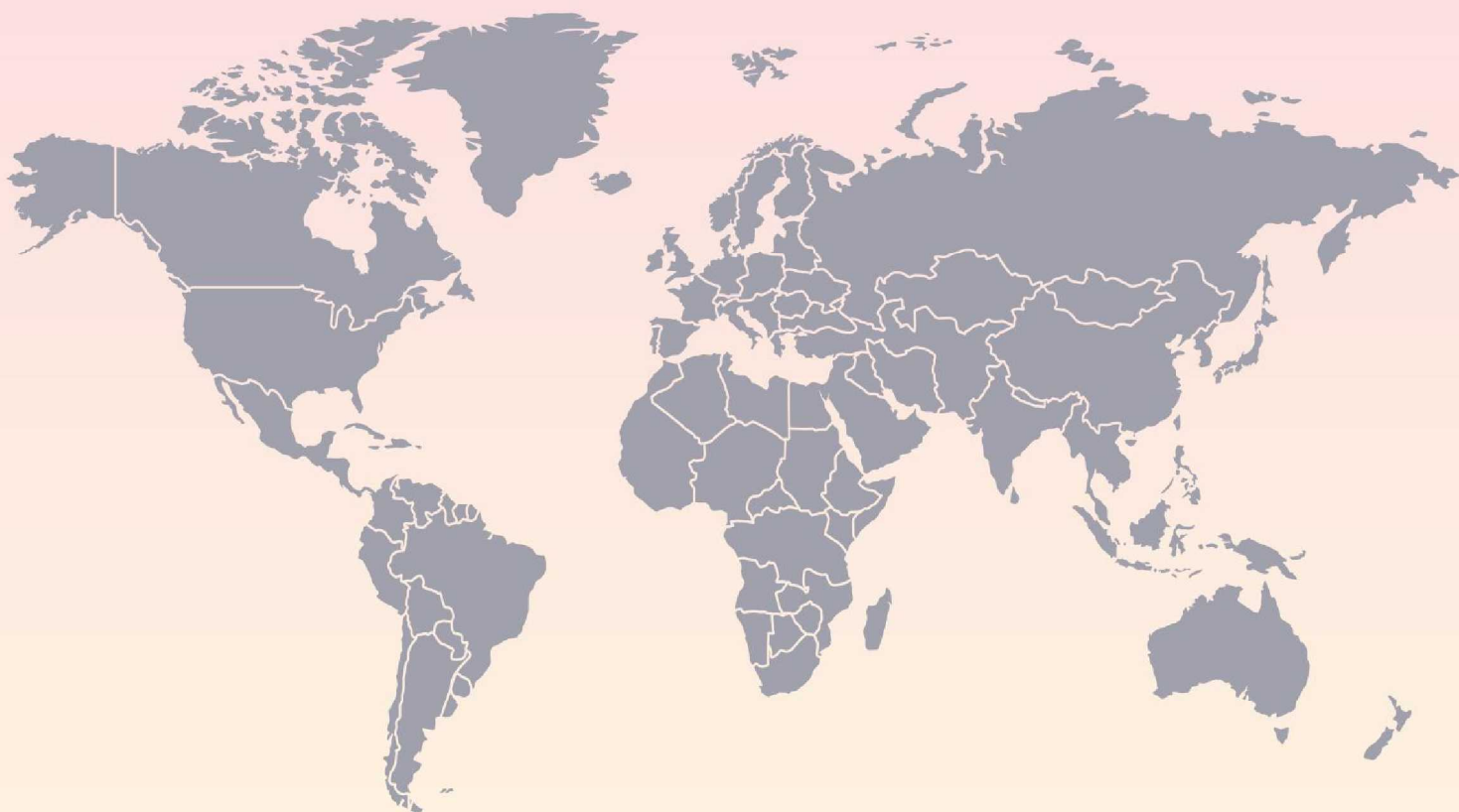




World
Coatings
CouncilSM

SDGsのための 重要業績評価指標ガイド

2023年3月



目次

このガイドについて.....	1
SDG 3: すべての人に健康と福祉を.....	2
SDG 4: 質の高い教育をみんなに.....	5
SDG 6: 安全な水とトイレを世界中に.....	8
SDG 8: 働きがいも経済成長も.....	9
SDG 9: 産業と技術革新の基盤をつくろう.....	12
SDG 11: 住み続けられるまちづくりを.....	13
SDG 12: つくる責任つかう責任.....	16
SDG 13: 気候変動に具体的な対策を.....	18
SDG 14: SDG 14: 海の豊かさを守ろう.....	22
参考資料.....	23
免責事項.....	25

このガイドについて



世界コーティング協議会(World Coatings Council, WCC) は、世界中の塗料工業会およびその会員企業を代表する団体です。

各地域の工業会や企業には大規模から中小まで、様々な規模があり、それぞれが独自に持続可能性の道を歩みつつ、相互に連携しています。

WCC は持続可能な開発に貢献するために世界の塗料業界の活動を調整する役割を担っており、このガイドを資料として提供しています。

2015 年、国連は 2030 年までに 17 の持続可能な開発目標 (SDGs) を達成するための計画を発表しました。SDGs には、貧困を撲滅し、地球を保護し、世界レベルで繁栄を達成するための計画の概要が記されています。この計画は、17 の目標項目と 169 の目標項目という要素で構成されており、国際レベルおよび地域レベルでの取り組みの指針となっています。

WCC とその会員は、国連のグローバルな持続可能な開発目標 (SDG) 17 の目標を支持し、世界の塗料業界と会員企業が大きく貢献できる 9 項目の戦略的 SDGs を特定しました。



重要業績評価指標 (KPI) は、SDGs 達成に向けた進捗状況を示す重要な指標です。このガイドでは、工業会や企業がサステナビリティ活動計画策定に用いて、SDGs に関する活動の進捗状況を記録したり、報告したりする際に活用できる KPI 関係の情報を概説します。ガイド利用者は、ここに記載されていない各 SDG への貢献を補足し、拡充する活動がある場合は、その活動についてデータを収集したり、報告を記載したりすることもできます。

各 KPI は次のレベルにより定義しています。

基本レベル: 企業・団体が実施する持続可能性プログラムの一部である必要があります。

発展レベル: サステナビリティプログラムが進化し、より包括的になった場合に取り組みます。

SDG 3: すべての人に健康と福祉を



SDG 目標:

- **3.6** 2020 年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
- **3.9** 2030 年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。
- **3.d** 全ての国々、特に発展途上国の国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和及び危険因子管理のための能力を強化する。

塗料塗料業界の KPI:

- ・KPI 3-1: 大気排出量
- ・KPI 3-2: 低 VOC 建築用塗料
- ・KPI 3-3: 健康と安全について評価された製品

大気排出量 (KPI 3-1)

KPI3-1 について

目的 VOC 排出量削減に向けた業界の取り組みを記録します。

WCC KPI コード 3-1 (SDG 3, KPI1)

参考標準 SASB RT-CH 120a.1

KPI の定義 3-1a: 基本レベル

3.1a 以下の汚染物質の数量(トン):

VOC - VOC は大気中の光化学反応に関与する全ての炭素化合物のうち、一酸化炭素、二酸化炭素、炭酸、金属炭化物または金属炭酸塩、炭酸アンモニウム、メタンを除いたもの、と定義されます(米国環境保護庁(EPA) により光化学反応性を無視できると判断された指定されたものを除く)。この定義は US 40 CFR Part 51.100 に準拠しており、光化学反応性を無視できると判断された化合物のリストが入手できます。EU 塗料指令(指令 2004/42/EC) や 1999 年カナダ環境保護法のスケジュール 1 など、適用される規制上の VOC の定義がこの定義と矛盾する可能性がある場合、企業・団体は適用規制に従って VOC を定義することができます。

3.1b その他の KPI への対応に役立つ定義: **発展レベル**

以下の汚染物質の数量(トン):

HAPs - HAPs は、米国 EPA によって、癌や、生殖への影響や出生異常などの他の重大な健康への影響、または環境への悪影響を引き起こすことが知られている、または疑わしい汚染物質として定義されています。EPA は、「1990 年大気浄化法改正の有害大気汚染物質リスト」で HAPs のリストを提供しています。

変数は、固定および移動発生源、生産施設、オフィスビル、輸送車両など、想定できるすべての発生源から測定する必要があります。

NOX = NO; NO₂

SOX = SO₂; SO₃

各社は、データが連続排出監視システム(CEMS)、工学計算、物質収支計算のいずれに基づくかなど、排出量開示の計算方法を検討することができます。

低 VOC 建築用塗料 (KPI 3-2)

KPI3-2 について

目的 業界の VOC 削減努力の指標として、低 VOC 建築用塗料製品の販売数量を示します。

WCC KPI コード 3-2 (SDG 3、KPI 2)参照

参考標準 なし/塗料業界の KPI

KPI3-2 の定義: **基本レベル**

売上高における低 VOC 建築用塗料製品の割合。企業・団体は、建築用塗料市場における低 VOC 塗料製品の販売による売上高の割合を開示する必要があります。

低 VOC 建築塗料には、VOC 含有量に関する適用基準および規制を下回る製品が含まれます。

製品の健康と安全(KPI 3-3)

KPI3-3 について

目的 塗料業界が、全ての市場、全ての製品について消費者の安全を最優先にしていることを示します。

WCC KPI コード 3-3 (SDG 3、KPI 3)

参考標準 SASB RT-CH 410b.1

KPI の定義 3-3: 発展レベル

他の KPI 対応役立つガイダンス:

企業・団体は、評価済みで、化学物質の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) のカテゴリ 1 および 2 に該当する、健康および環境に有害な物質を含む製品の収益における割合を開示する必要があります。

- GHS の健康有害性分類には以下の項目が含まれます: 急性毒性、皮膚腐性/刺激性、目に対する重篤な損傷性/眼刺激性、呼吸器感作性または皮膚感作性、生殖細胞変異原性、発がん性、生殖毒性、特定標的臓器毒性-単回ばく露、特定標的臓器毒性、反復ばく露吸引毒性。
- GHS 環境有害性には次の項目が含まれます: 急性水生毒性、慢性水生毒性、生物蓄積性、急速分解性。

企業・団体は、GHS による定義を参照する必要があります。

SDG 4: 質の高い教育を みんなに



SDG ターゲット:

- **4.4** 2030 年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大きく増やす。
- **4.5** 2030 年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子供など、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。
- **4.7** 2030 年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。
- **4.c** 2030 年までに、発展途上国、特に後発発展途上国及び小島嶼発展途上国における教員研修のための国際協力などを通じて、質の高い教員の数を大幅に増加させる。

塗料業界の KPI:

- KPI 4-1: 従業員の研修時間
- KPI 4-2: 職業訓練
- KPI 4-3: 教育プログラム

従業員の研修時間(KPI 4-1)

KPI4-1 について

目的 従業員の生涯学習への貢献。

WCC KPI コード KPI 4-1 (SDG 4、KPI 1)

参考標準 GRI 404-1

KPI の定義 4-1:基本レベル

他の KPI 対応に役立つガイダンス:

- 従業員 1 人あたりの年平均研修時間を算出方法

従業員数はフルタイム換算(FTE)で表示します。従業員一人あたりの研修費用の通貨を明記してください。

計算式:

従業員一人あたりの平均研修時間= 全従業員に提供された研修時間の合計/従業員の総数 (FTE)

- 従業員一人あたりの年間研修費用の算出方法

計算式:

従業員 1 人当たりの平均研修費用= 全従業員の研修にかかる総額/FTE 従業員の総数

職業訓練 (KPI 4-2)

KPI4-2 について

目的 塗料業界における専門家研修/職業訓練を示す

WCC KPI コード KPI 4-2 (SDG 4、KPI 2)

参考標準 なし/塗料業界の KPI

KPI の定義 4-2: **基本レベル**

報告企業・団体が主催・支援する塗料業界向けの職業訓練の場を設けてください。

企業・団体が設ける研修コースはどのような形式でも結構です。職員の研修時間、新人研修、最新情報セミナーやコース、インターンシップ・見習い・研修生制度の検討、学校とのパートナーシップや協力プログラムなどが挙げられます。

職業訓練 (KPI 4-3)

KPI4-3 について

目的 社会へのプラスの波及効果(STEM と持続可能性)。

WCC KPI コード KPI 4-3 (SDG4、KPI 3)

参考標準 なし/塗料業界の KPI

KPI の定義 4-3: **基本レベル/発展レベル**

他の KPI 対応に役立つガイダンス:

幼稚園、学校、大学との取り組みや持続可能性の課題を通じて、革新的な塗装技術を開発するために必要な科学、技術、工学、数学の理解をサポートする教育プログラムを調査します。

報告企業・団体は次の情報を報告するものとします。

- プログラムを実施する教育段階(義務教育、高校、大学、その他専門学校など)。**発展レベル**
- 教育プログラムに関する情報を広報した参加者数/人数の合計。**基礎レベル**

SDG 6: 安全な水とトイレを世界中に



SDG ターゲット:

- 6.3 2030年までに水質を改善するために、水質汚染を減らし、投棄を廃絶し、有害化学物質や原材料の放出を最小化し、未処理の排水の割合を半減させ、リサイクルと安全な再利用を全世界で大きく増やします。

塗料業界の KPI::

- KPI 6-1: 取水、排水、または水の消費

取水、排水および水の消費 (KPI 6-1)

KPI6-1 について

目的 きれいな水の供給に対する業界の貢献を説明します。

WCC KPI コード KPI 6-1 (SDG 6, KPI 1)

参考標準 SASB RT-CH-140a, GRI 304

KPI の定義 6-1: 基本レベル/発展レベル

取水量: 全水源から取得した総水量 (単位: 千リットル)。 [基本レベル](#)

排水量: すべての地域に排出される総水量 (単位: 千リットル)。排水処理にあたっての優先懸念物質をリストアップしてください。 [基本レベル](#)

水消費量: 企業の事業活動で消費されたの総水量 (単位: 千リットル) [発展レベル](#)

SDG 8: 働きがいも経済成長も



SDG ターゲット:

- **8.2** 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
- **8.4** 2030 年までに、世界の消費と生産における資源効率を漸進的に改善させ、先進国主導の下、持続可能な消費と生産に関する 10 か年計画枠組みに従い、経済成長と環境悪化の分断を図る。
- **8.5** 2030 年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。
- **8.7** 強制労働を根絶し、現代の奴隷制、人身売買を終らせるための緊急かつ効果的な措置の実施、劣悪な児童労働の禁止及び撲滅を確保する。2025 年までに児童兵士の募集と使用を含むあらゆる形態の児童労働を撲滅する。
- **8.8** 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全安心な労働環境を促進する。

塗料業界の KPI:

- KPI 8-1: 従業員の負傷および死亡数
- KPI 8-2: 多様性
- KPI 8-3: 原材料
- KPI 8-4: 持続可能なサプライチェーン

従業員の負傷および死亡数(KPI 8-1)

KPI8-1 について

目的 塗料業界は従業員の健康と安全を優先していることを示します。

WCC KPI コード KPI 8-1 (SDG 8、KPI 1)

参考標準 SASB RT-CH-320a

KPI の定義 8-1:基本レベル

報告企業・団体は、業務関連の傷害および疾病の**記録災害度数率(TRIR)**を開示する必要があります。

怪我や病気は、死亡、欠勤、仕事の制限や異動、応急処置以外の治療、または意識喪失のいずれかに該当した場合、記録案件とみなされます。さらに、医師またはその他の資格のある医療専門家によって重大な怪我や病気と診断された場合は、たとえ死亡、欠勤、仕事の制限や異動、応急処置以外の治療、または意識喪失のいずれかに該当しなくても、記録案件とみなされます。

この定義は、US 29 CFR 1904.7 に基づいています。米国労働安全衛生局(OSHA) は、怪我や病気が記録案件とみなされるかどうかを判断するための追加資料を OSHA フォーム 300、300A、および 301 のガイダンスに記載しています。

報告するデータ:

- 可能であれば、報告企業・団体は記録災害度数率(TRIR) を提供してください。
- または、記録案件の総数、業務関連死亡者の総数と全従業員の総労働時間の報告でも結構です。

多様性 (KPI 8-2)

KPI8-2 について

目的 多様な労働者の活躍に対する業界の支援活動を示します。

WCC KPI コード KPI 8-2 (SDG 8、KPI 2)

参考標準 GRI 405-1

KPI の定義 8-2:基本レベル

報告企業・団体は次の情報を報告してください。

企業・団体のガバナンス部門における、次の多様性分類に属する人の割合:

- 性別
- 年齢層 (30 歳未満、30~50 歳、50 歳以上)
- 多様性を示すその他の指標 (少数派または弱者グループなど) を必要に応じて。

原材料 (KPI 8-3)

KPI8-3 について

目的 天然資源の責任ある使用。

WCC KPI コード KPI 8-3 (SDG 8、KPI 3)

参考標準 GRI 301-1

KPI の定義 8-3:発展レベル

他の KPI 対応に役立つガイダンス:

報告企業・団体は、次の情報を報告すること:報告対象期間中に自社の主要な製品およびサービスの、製造および梱包に使用された原材料の総受領または数量、および使用された原材料の総重量に占める再生可能材の割合。

報告には以下を含めること。

- 原材料:製品やサービスに転換するために用いる鉱石、鉱物や木材など。
- 関連工程用材料:製造機械用の潤滑剤など、製造プロセスに必要なだが、最終製品には含まれない素材。
- 半製品または部品:最終製品の一部となる原材料以外のあらゆる形状の原材料や部品が含まれます。
- 紙、ボール紙、プラスチックなどの包装用材料。
- 材料の種類ごとに、それが外部調達品か、内部調達品か(自社生産や抽出活動や)を報告します。

持続可能なサプライチェーン(KPI 8-4)

KPI8-4 について

目的 倫理的な労働慣行、良好な労働関係、持続可能なサプライチェーン。

WCC KPI コード KPI 8-4 (SDG 8、KPI 4)

参考標準 GRI 308-1; GRI 414-1

KPI の定義 8-4:基本レベル

他の KPI に対応するために役立つガイダンス:

報告企業・団体は次の情報を報告する必要があります。

- その企業団体に持続可能な調達業務に関するガイドラインの文書があるかどうか。
- 環境や社会基準を備えたサプライヤーとの契約の割合
- 環境基準や社会基準に従って審査されたサプライヤーの割合
- その企業団体に正式な人権方針を定めているかどうか(人権憲章、倫理規定、ミッションステートメント、会社の誓約文書など)

SDG 9: 産業と技術革新の 基盤をつくろう



SDG 目標:

- 9.4 資源利用効率の向上と、クリーンかつ環境に配慮した技術産業プロセスの導入拡大を通じたインフラの更新や産業改革により、持続可能性を 2030 年までに向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。

塗料業界の KPI:

- KPI 9-1: イノベーション

イノベーション (KPI 9-1)

KPI9-1 について

目的 研究開発や新製品の上市を通じて業界の革新性を示します。

WCC KPI コード KPI 9-1 (SDG 9、KPI 1)参照

参考標準 なし/塗料業界の KPI

KPI の定義 9-1: 発展レベル

報告企業・団体は、前年から期限日までに上市された新製品の数を報告する必要があります。

ここでの「新製品」とは、新配合（例：当該分野における新しい化学組成、既存の配合を調整した化学組成、特定の化学物質を別の化学物質に置き換えた製品、新しい色や仕上げを提供する製品など）の製品を意味します。

他の KPI に対応するために役立つガイダンス:

報告企業・団体は次の情報を報告する必要があります。

- 研究開発費
- 1年で提出した特許出願数
- 保有特許数

SDG 11: 住み続けられるまちづくりを



SDG ターゲット:

- 11.3 2030 年までに、包括的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、統括型かつ持続可能な人間居住計画管理の能力を強化する。
- 11.6 2030 年までに、大気汚染および一般ごみやその他の廃棄物の管理に重点的に取り組むなどして、都市の人口一人当たりの、環境に及ぼす悪影響を軽減する。

塗料業界の KPI:

- KPI 11-1: グリーン製品
- KPI 11-2: マネジメントシステム
- KPI 11-3: 持続可能な地域社会とインフラへの貢献

グリーン製品 (KPI 11-1)

KPI 11-1 について

目的 環境に優しい製品を提供するための業界の取り組みを示します。

WCC KPI コード KPI 11-1 (SDG 11、KPI 1)

参考標準 なし/塗料業界の KPI

KPI の定義 11-1: 発展レベル

他の KPI に対応するためのガイダンス:

報告企業・団体は、1 つ以上のグリーン認証を取得した製品数を報告する必要があります。例としては、EU Ecolabel (EU エコラベル)、Environmental Choice (環境チョイス)、Blue Angel (ブルーエンジェル)、Carbon Trust (カーボン・トラスト)、EPD (環境商品宣言) などが挙げられますが、これに限定されません。

報告企業・団体は、「グリーン」製品から得た収益の割合と、使用している認証、ラベル、規格のリストも開示する必要があります。

環境管理と認証(KPI 11-2)

KPI 11-2 について

目的 環境に配慮した生産活動に関する業界の取り組みを示します。

WCC KPI コード KPI 11-2 (SDG 11、KPI 2)

参考標準 なし/塗料業界の KPI

KPI の定義 11-2:発展レベル

報告企業・団体は、どの環境管理システム(EMS) を使用しているかを開示する必要があります。環境マネジメントシステムは、環境マネジメント計画や手順の効果的な実施、環境政策の目標とターゲットへの適合を確保する手段です。

EMS の効果的な運用には、システム手順書と指示書を文書化しておき、効果的なコミュニケーションと実施の継続を確実にすることが大切です。EMS ISO 14001 および EC の EMAS スキームには、システムが国際的に認められた標準に従って運用されていることを証明する認証システムがあります。または、運用上の特定のニーズに対応するように、システムをカスタマイズすることもできます。

報告企業・団体は、持続可能なサプライヤーとして認証されているかどうか、そしてそこに用いられている認証スキームも開示する必要があります。

持続可能な地域社会とインフラへの貢献(KPI 11-3)

KPI 11-3 について

目的 使用段階における資源効率を考慮した製品設計を提供することによる、持続可能なコミュニティとインフラへの業界の貢献を示します。

WCC KPI コード KPI 11-3 (SDG 11、KPI 3)

参考標準 SASB RT-CH-41 0a.1

KPI 11-3 の定義:基本レベル

他の KPI に対応するためのガイダンス:

企業・団体は、使用段階での資源効率向上を意図した製品の数を経報告する必要があります。企業・団体はまた、使用段階の資源効率を考慮して設計された製品から得た収益の割合も開示するものとします。

資源効率向上を意図した製品とは、その使用を通じて、特にエネルギー効率の向上、温室効果ガス (GHG) 排出の廃絶または削減、原材料消費量の削減、製品寿命の延長や水消費量が削減できる製品と定義されます。

使用段階とは、企業の製品が顧客または消費者によって最終製品 (例: 基材に塗布される塗料) として使用される過程や、企業の製品が顧客または消費者によって最終製品を生成するため使用される過程 (例: 製造または生産プロセス) と定義されます。

使用段階で製品がもたらす資源効率向上について企業がテスト、モデル化、またはその他の方法で確立したことが文書で示されている場合、使用段階の資源効率向上を意図した製品であるとする必要があります。

製品のもたらす資源効率の向上が補助的、間接的、または極わずかな場合 (たとえば、前世代の製品よりわずかに軽い従来品) は開示の範囲から除外されます。

資源効率向上を意図した製品の例には、断熱材、高反射率塗料、より効率的な燃焼をもたらす燃料添加剤、エネルギー効率の高い照明機器、仕様段階の耐用年数を延長する添加剤または材料、車両の軽量化を可能にする素材 (金属に代わるポリマーなど)、バイオ燃料、ソーラーフィルム、屋根用ソーラーパネル、およびその他の再生可能エネルギー材料などが挙げられます。

SDG 12: つくる責任つかう責任



SDG 目標:

- **12.4** 2020 年までに、合意された国際的な枠組みに従って、化学物質および全ての廃棄物のライフサイクル全体で環境に配慮した管理を達成し、それらの人間の健康と環境への悪影響を最小限に抑えるために、大気、水、土壌への放出を大幅に削減すること。
- **12.5** 2030 年までに、廃棄物の発生を大幅に削減するために、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用に取り組む。
- **12.a** 発展途上国の消費生産パターンの持続可能性を高めるため、科学技術能力の強化を支援する。

塗料業界の KPI:

- KPI 12-1: 廃棄物管理
- KPI 12-2: 回収およびリサイクル計画

廃棄物管理(KPI 12-1)

KPI 12-1 について

目的 業界が循環性と原材料効率対策について配慮していることを示します。

WCC KPI コード KPI 12-1 (SD G 12、KPI 1)

参考標準 GRI 306

KPI の定義 12-1: 発展レベル

報告企業・団体は、次の情報を報告する必要があります(換算係数 1 トン= 1000 キロ)。

発生した廃棄物の総重量(トン)、データおよびデータの集計方法を理解するために必要な文脈情報。報告企業・団体は、国の法律で義務付けられていない限り、排水を総廃棄物の報告対象から除外する必要があります。

他の KPI に対応するためのガイダンス:発展レベル

報告企業・団体は、エネルギー回収を行うプラントで焼却された廃棄物の重量を明記する必要があります。

報告企業・団体は、機械的リサイクルシステムに投入する廃棄物の重量を明記する必要があります。

回収およびリサイクル計画(KPI 12-2)

KPI 12-2 について

目的 業界が循環性と原材料効率対策について配慮していることを示します。

WCC KPI コード KPI 12-2 (SDG 12、KPI 2)

参考標準 なし/塗料業界の KPI

この KPI のデータは業界団体から直接収集します。

他の KPI に対応するためのガイダンス: 発展レベル

塗料/梱包材の回収およびリサイクル計画が実施されている場合、報告企業・団体はすべてのメンバーの業務について次の情報を提供する必要があります。

- 回収された塗料の合計量
- 生産物の一部として回収された塗料の量
- 回収された包装材の総重量
- 生産物の一部として回収される包装材

SDG 13: 気候変動に 具体的な対策を



SDG ターゲット:

- 13.1 全ての国で、気候関連の災害や自然災害に対するレジリエンス(回復力)と適応能力を強化する。
- 13.2 気候変動対策を国の政策、戦略及び計画に盛り込む。
- 13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減、早期警戒に関する教育、認識工場、人的制度的能力の向上を図る。

塗料業界の KPI:

- KPI 13-1: エネルギー消費量
- KPI 13-2: エネルギー強度
- KPI 13-3: GHG 排出量
- KPI 13-4: GHG 削減目標

エネルギー消費量 (KPI 13-1)

KPI 13-1 について

目的 業界のエネルギー管理の概要を説明します。

WCC KPI コード KPI 13-1 (SDG 13、KPI 1)

参考標準 GRI 302-1

KPI 13-1 の定義:基本レベル

報告企業・団体は、次の情報をギガジュール(GJ) またはメガワット時(MWh)単位で報告する必要があります。

- 企業団体内の総エネルギー消費量
- 可能であれば、燃料消費量、電気消費量、暖房消費量、冷却消費量、蒸気消費量を個別に報告してください。
- 企業団体内の総エネルギー消費量に占める再生可能資源の割合
- 電力消費量における再生可能資源由来の割合

エネルギー強度(KPI 13-2)

KPI 13-2 について

目的 業界におけるエネルギー強度を最小限に抑えるための取り組みを示します。

WCC KPI コード KPI 13-2 (SD G 13、KPI 2)

参考標準 GRI 302-3

KPI の定義 13-2:発展レベル

報告企業・団体は、以下の情報を報告する必要があります。

企業・団体のエネルギー強度比は、製造された製品の重量(キログラム)の比率として適用されるキロワット時の割合です

温室効果ガス排出量(KPI 13-3)

KPI 13-3 について

目的 業界の温室効果ガス排出量を追跡します。

WCC KPI コード KPI 13-3 (SD G 13、KPI 3)

参考標準 GRI 305-1、GRI 305-2、GRI 305-3

KPI の定義 13-3:発展レベル

報告企業・団体は次の情報を報告する必要があります。

1. 温室効果ガス(GHG)直接排出量(Scope 1)をCO₂換算トンで。
2. 計算に含まれるガスはCO₂、CH₄、N₂O、HFC、PFC、SF₆、NF₃です(除外ガスを明記のこと)。

GHG 直接排出量(スコープ 1)には、GRI 302: エネルギーの開示 302-1 で報告されている燃料消費によるCO₂排出量も含まれます。GHG 直接排出(スコープ 1)は、企業・団体が所有または管理する以下の発生源から発生する可能性があります。

- a. 発電、加熱、冷却、蒸気: これらの排出は、ボイラー、炉、タービンなどの固定源における燃料の燃焼や、フレアなどの他の燃焼プロセスなどから生じます。
- b. 物理的または化学的プロセス: ここでの排出のほとんどは、セメント、鉄鋼、アルミニウム、アンモニアなどの化学物質や原材料の製造・加工の工程や廃棄物処理の工程に起因します。

- c. 原材料、製品、廃棄物、労働者、乗客の輸送：ここでの排出はトラック、電車、船舶、飛行機、バス、自動車など、企業・団体が所有または管理する移動式燃焼源での燃料の燃焼によって生じるものです。そして
- d. 逸散排出量 (Fugitive emissions)：これは物理的に制御されていないが、意図的または偶発的な温室効果ガス (GHG) の放出によって生じる排出量です。これには、接合部、密閉部、パッキン、ガスケットなどの機器の漏洩、メタンの排出 (例：石炭鉱山からの排出) や換気、冷蔵・空調機器からの HFC 排出、メタンの漏洩 (例：ガス輸送からの漏洩) などが含まれます。

全体(スコープ 2、スコープ 3)：

エネルギー間接的 (スコープ 2) GHG 排出量には、企業・団体が購入・取得し、消費する電力、暖房、冷房、および蒸気の生成にかかる CO₂ 排出量などが含まれます。これは GRI 302: エネルギーの開示 302-1 で指定されている方法で開示されます。

多くの企業・団体では、購入した電力の生成に起因するエネルギーによる間接的 (スコープ 2) GHG 排出量が、直接的 (スコープ 1) GHG 排出量よりもはるかに多くなる可能性があります。

報告企業・団体は以下の情報を報告する必要があります。

1. 拠点単位の間接エネルギー (スコープ 2) の総排出量 (CO₂ 換算トン)。
2. 該当する場合、商業ベースの間接エネルギー (スコープ 2) の GHG 総排出量 (CO₂ 換算量、単位：トン)。
3. 分かる場合は、計算に含まれるガスの種類。CO₂、CH₄、N₂O、HFC、PFC、SF₆、NF₃、または全て。
4. 該当する場合、以下を含む計算の基準年。
 - a. その年を選択した理由。
 - b. 基準年の排出量。
 - c. 基準年の排出量の再計算の原因となった排出量の重大な変化の背景
5. 使用された排出係数と地球温暖化ポテンシャル (GWP) 率の情報源、または参照した GWP 資料。
6. 排出物の統合方法は、所有割合 (equity share)、財務的な制御 (financial control)、または運営的な制御 (operational control) のいずれかに基づいて行われます。
7. 使用される標準、方法論、推計方法や計算ツール。

エネルギー間接 (スコープ 3) GHG 排出量

その他の間接 (スコープ 3) GHG 排出量には、エネルギー間接 (スコープ 2) GHG 排出量以外の、上流も下流も含めた企業・団体の外部で発生するすべての間接 GHG 排出量が含まれます。その他の間接的 (スコープ 3) GHG 排出は、企業・団体の活動の結果ではあるものの、企業・団体が所有または管理していない発生源から発生したものがああります。

スコープ 3 に含まれる活動の例として、購入した原材料の抽出と生産が含まれます。企業・団体が所有または管理していない車両で購入した燃料を輸送することや、製品やサービスの最終仕様などがあります。計算からは以下を除外する必要があります。有機的排出、スコープ 2 の間接排出、温室効果ガス取引。

報告の際には、企業・団体は次の情報を報告する必要があります。

- その他の間接的(スコープ 3) GHG 排出総量(CO₂ 換算トン)。
- 可能な場合、計算に含まれるガスの種類(CO₂、CH₄、N₂O、HCFs、PFCs、SF₆、NF₃、またはすべて)

GHG 排出削減目標(KPI 13-4)

KPI 13-4 について

目的 業界における気候変動戦略を示します

WCC KPI コード KPI 13-4 (SDG 13、KPI4)

参考標準 GRI 305- 5

KPI 13-4 の定義:発展レベル

企業・団体は、温室効果ガス排出削減戦略を実施しているかどうかを開示する必要があります。また、必要に応じて、以下を含む排出削減目標も開示するものとします。

- 排出削減目標の範囲(例:目標が適用される総排出量の割合)
- 基準年に対する削減率。基準年は初年を目標達成に向けた排出量の評価基準とする。
- GHG 排出量の対象には、京都議定書に示される 7 つの GHG、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、亜酸化窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボン(HFC)、パーフルオロカーボン(PFC)、六フッ化硫黄(SF₆)、三フッ化窒素(NF₃)が含まれる。

SDG 14: 海の豊かさを守ろう



SGD 目標:

- 14.1 2025 年までにあらゆる種類の海洋汚染、特に海洋ごみや富栄養化を含む、陸上活動による汚染を防止し、大幅に削減する。
- 14.2 海洋の健全性の改善と、発展途上国、特に小島嶼発展途上国および後発発展途上国の開発における海洋生物多様性の寄与向上のために、海洋技術の移転に関するユネスコ政府間海洋学委員会の基準ガイドラインを勘案しつつ、科学的知識の増進、研究能力の向上、及び海洋技術の移転を行う。

塗料業界の KPI:

- KPI14-1: SDG 14 への貢献に関するケーススタディ

(KPI 14-1) への貢献に関するケーススタディ

KPI14-1 について

目的 水中の生命の保護に対するコーティング業界の貢献を示します。

WCC KPI コード KPI 14-1 (SDG 14、KPI 1)

参考標準 なし/塗料業界の KPI

KPI 14-1 の定義: 発展レベル

他の KPI に対応するためのガイダンス:

報告企業・団体は次の情報を報告する必要があります。

- 塗料と塗装における殺生物剤の責任ある使用の利点に関する情報・研究・指標(例: 燃料効率の高い海上輸送、保全および輸送における安全性の向上、製品劣化防止による廃棄物の削減、洗剤と水の使用量の削減、外来種対策、VOC やその他の排出量が多い配合の実現可能な代替として水性塗料をサポートすること、海洋生物多様性の保全に関する取り組み、汚染軽減の取り組み)。

參考資料

Global Reporting Initiative (2020), Sustainability Reporting Standards:

<https://www.globalreporting.org/standards/download-the-standards/>

Sustainability Accounting Standards Board (2018), CHEMICALS – Sustainability Accounting Standard:

https://www.sasb.org/wp-content/uploads/2018/11/Chemicals_Standard_2018.pdf

UN Regulation for the Transport of Dangerous Goods:

<https://worldcoatingscouncil.org/advocacy-policy/#transport-of-dangerous-goods>

CEO Action for Diversity and Inclusion:

<https://www.ceoaction.com/>

CEPE Paint Formula Stewardship, 2016 Report:

https://www.cepe.org/wp-content/uploads//2020/05/CEPE_annual_report_2016-1.pdf

British Coatings Federation (2020), Sustainable Strokes:

<https://www.coatings.org.uk/sustainable-strokes.aspx>

British Coatings Federation, Coatings Institute Program:

<https://www.thecoatingsinstitute.com/>

FIPEC partnership with chemistry school, ESCOM Paris:

<https://www.escom.fr/escom-chimie/escom-chimie-grande-ecole-de-chimie/> ITEC Lyon <http://www.itech.fr/decouvrez-l-itech/qui-sommes-nous/>

American Coatings Association with Young Minds Inspired:

<https://www.paint.org/coatingstech-magazine/articles/aca-implements-stem-outreach-program/>

American Coatings Association, Safety Awards Program:

<https://www.paint.org/programs-publications/programs/safety-awards/>

Canadian Paint and Coatings Association, Coatings Tech Program, available online:

<https://canpaint.com/education-training/coatingstech/>

ANAFAPYT Educational Programs:

<https://anafapyt.com/capacitacion/>

ABRAFATI Resíduos Sólidos Initiative:

<https://abrafati.com.br/residuos-solidos/>

VdL, Vision Zero Initiative:

<https://www.wirsindfarbe.de/themen/umwelt-und-sicherheit/vision-zero-sicher-arbeiten-in-der-lack-und-druckfarbenindustrie>

Paint Collection and Recycling Programs:

- Australia – Paintback: <http://www.apmf.asn.au/sustainability/>
- Canada – PaintCare: <https://canpaint.com/leaders-in-product-stewardship/post-consumer-paint-recycling/>
- New Zealand: <https://www.paintman.org.nz/paint-recycling>
- UK – PaintCare: <https://www.coatings.org.uk/leftover-paint.aspx>
- United States – PaintCare: <https://www.paintcare.org/>

AkzoNobel GRI Reporting:

<https://www.akzonobel.com/en/about-us/sustainability-/sustainability-reporting/gri-content-index>

Axalta GRI and SASB Reporting:

<https://sustainability.axalta.com/>

BASF GRI Reporting:

<https://report.basf.com/2020/en/overviews/gri-and-global-compact-index/topic-specific-standards.html>

BASF Supplier Code of Conduct:

<https://report.basf.com/2018/en/managements-report/responsibility-along-the-value-chain/supplier-management.html>

PPG 2020 Report:

<https://sustainability.ppg.com/>

The Sherwin-Williams Company 2020 Sustainability Report:

https://sustainability.sherwin-williams.com/doc/Sustainability_Report

<https://sustainability.sherwin-williams.com/corporatesocialresponsibility/gri-sustainability-report-index>

免責事項

この文書(ガイド)は、世界塗料協議会(WCC)を代表して作成され、その主題に関連する一般的なガイドランスとするために作成されました。このガイドは一般的なものであり、このガイドに対応方法がすべて含まれていると想定、理解、または暗示するべきではありません。また、関連する条件や状況、または国際的な法律、国内法、地方法の適用により、追加または代替の情報や対策が適切で必要または望ましいとされるときも仮定するべきではありません。このガイドを使用する皆様におかれましては、ご自身の行動がそれぞれに適用される基準に準拠していることを独自にご確認いただき、適切なアドバイザーや専門家とご相談下さい。

本ガイドに信頼性のあるデータと情報を含めるために適切に努めましたが、WCCは、ここに含まれるすべての事実、データ、および資料の正当性、使用の結果、または内容の翻訳について責任を負いかねます。

本ガイドに含まれる情報は、WCC、WCCの会員工業会、またはその代理人によって作成、編纂されたものであり、読者の参考のためにご用意しました。それぞれにかかる法律の許容範囲で、WCCおよびその加盟企業、およびそれぞれの役員、従業員、契約業者、コンサルタント、受託者は、ここに含まれる情報の正確性と完全性に関して、明示または暗示を問わず、いかなる種類の担保、代弁、または保証するものではありません。また、この情報の使用や誤用に対して一切の責任を負いません。

WCCおよびその加盟企業は、公開後に入手される情報に基づいて、ここに含まれる情報を修正、改訂、または更新する責任を負うものではありません。



発行者:

World Coatings Council
901 New York Avenue NW
Suite 300 West
Washington, DC 20001
www.worldcoatingscouncil.org
Contact: worldcoatings@paint.org

このガイドはWorld Coatings Councilの依頼により下記企業が作成しました。
:Resonse, www.good-response.de